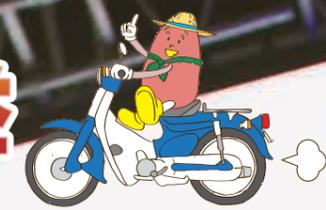




サプライズゲストのゴールデンボンバーの皆さん（写真右から4人）と一緒に「バイクが好きだ！」 式典最後、会場の全員がひとつに

世界初の快挙

1億台達成



HONDA



1億台達成

本田技研工業(株)熊本製作所(平川)で10月上旬に産声をあげた一台のオートバイは町や県にとっても大きな意味を持つものでした。

時には、生活の足として、レジャーの主役として、そしてある時は、仕事の相棒として、昭和33年から暮らしに寄り添ってきた「輪車」。特にベトナムではそれを「ホンダ」と呼ぶほど浸透しています。同社

が日本の二輪車業界を牽引するに至ったきっかけを作ったロングセラーマシン「スーパーカブ」。そして、今年大きな節目を迎えました。それは、「世界生産累計台数1億台」。その発表が行われた「Super Cubシリーズ世界生産累計台数1億台達成記念式典」が同社の熊本製作所で10月19日に行われた様子を写真と一緒にお届けします。



世界で愛されるスーパーカブ

記念式典のメイン会場には本田技研工業(株)八郷隆弘社長をはじめ、蒲島県知事、家人町長、関係企業や従業員を含め約1,000人が参加しました。来年で60周年を迎えるこのシリーズは「需要のあるところで生産する」という企業理念のもと、「砂利道でもパワフルに走れるように」、「荷物入れはシートの下がいい」などの需要に対して、その土地ごとに仕様が変更された、現地の「スーパーカブ」が誕生しました。

「スーパーカブ」は現在15カ国・16の工場で生産され、文化や生活に溶け込み、愛されています。



1 ベトナムの「Wave RSX」2 ブラジルの「Biz 125」3 タイの「Dream 110i」・いずれも現地の人々に愛される「スーパーカブ」



スーパーカブに対する思いを語る八郷社長

世界のモノづくりの中心

八郷社長は熊本製作所で作られた1億台記念車「スーパーカブ110」に乗って壇上に登場し、「日本で誕生したスーパーカブが今年、世界生産累計台数1億台を達成することができました。熊本製作所は世界のモノづくりの中心。2億台目もぜひ、ここで製造したい」と会場を沸かせていました。

耐久性と経済性に優れ、発売開始から60年経とうとしている現在も元設計を引き継ぎ継続生産されています。

そして、平成29年から同バイクの生産が国外から、ここ大津町に移管され、これからも世界を熱くしていくことが期待されています。

小さな猛獣の快挙

昭和27年に生まれた「カブ」は自転車につける補助モーターとして誕生しました。獣の子という意味の「カブ」。小さくても大きな力を出すエンジンなどの技術は、その後誕生する世界的ロングセラーオートバイ「スーパーカブ」へと受け継がれました。

熊本製作所が昭和51年に操業開始し、約40年。モノづくりの遺伝子はここ大津町に根付いています。

小さな猛獣が達成した偉業は、熊本地震から復興に向かう町の姿を照らしていくことでしょう。

INFORMATION

本田技研工業(株)の技術をみることが出来る工場見学を現在、団体向けに行っています。「スーパーカブ」などのオートバイがいかんして作られているのかを見学を通じてその技術や、歴史をより深く学ぶことができます。

- 参加希望の場合はまずは電話でお問い合わせください。
- 見学実施日時 月～金曜日 午前9時または午後2時
※ただし、ラインの稼働状況により、見学できない日もありますのでご了承ください。
 - 申込期間 見学希望日の2カ月前～1カ月前の同日
 - 見学受入人数 120人
※車椅子・松葉杖などを利用する人がいる場合はお知らせください。
 - 申し込み・問い合わせ
本田技研工業(株)熊本製作所 総務課 工場見学担当
☎096(293)1130 (土日・工場の非稼働日を除く)
※受付時間：午前8時30分～正午、午後1時～午後4時



町では個人でも参加できるツアーを計画中です。次号をお楽しみに！

完成検査中のバイク